

2 平野環濠跡

平野環濠のつくられた時期は不明であるが、戦国時代の動乱の時代に自衛と灌漑、排水あるいは洪水の調節池としての役割をになったと考えられる。まちの周囲にめぐらされた濠は平野川とつながっていたことから、舟運もひらけ、繁栄の基礎ともなった。



4 末吉家住宅

平野七名家の一つであり、東横堀川に末吉橋を架けた。平野郷誌によると、屋敷の竣工は宝永4年(1707)頃で、築300年以上たった現在も、その壮麗な姿を保っている。江戸中期に建設された住宅、門、塀、西蔵は国の登録有形文化財に登録されている。



6 小林新聞舗店舗

2つずつ配したアーチ形の窓枠が特徴のレトロな建物で、「新聞屋さん博物館」にもなっている。明治22年(1889)創業の、市内でもっとも古い朝日新聞の販売店で、建物は昭和4年(1929)に建てられた。平成19年(2007)国の登録文化財となった。



8 赤留比売命神社(三十歩神社)

杭全神社の摂社で、新羅より渡来した女神、赤留比売命を祀る。俗称の三十歩神社は、応永年間(1394~1428)の干ばつ時に法華經三十部を読誦したところ靈験あらたかであったためと言われる。社殿背後に位置する平野公園は、かつて松山池として環濠の一部を構成しており、現在でも境内に残る土塁から当時の姿をうかがうことができる。



11 奥田邸とその裏の道

河内国付近の10村の庄屋代表を勤めた奥田家の邸宅。主屋をはじめ、米蔵・乾蔵・長屋門などが国の重要文化財に指定されている。また、奥田邸の敷地内の樹木と、裏の道沿いにある大きな楠とが調和し、落ち着いた景観を形成している。※奥田邸見学希望の方は、平日に事前の電話予約が必要です。



14 屋敷小路(喜連環濠地区内)

喜連環濠地区の中野街道沿いには、江戸期から明治期にかけて建てられた旧家の建物など、歴史的なまちなみや残されている。古代伎人郷が中世の環濠集落、近世の惣村へと変遷発展していったことを裏付ける史料群が次々再発見され、その歴史が明らかになりつつある。



16 喜連環濠六口の地蔵尊

六口の地蔵尊の位置と名称から中世喜連環城の惣構がわかる。環濠の六口は戦乱時には矢倉が建つ村の関所だった。近世に関所は地蔵堂に変わり、村人の生活に溶け込み、子どもたちを守る仏様に転じ、夏の風物詩「地蔵盆」として、今も親しまれている。



20 志紀長吉神社参道

大鳥居から神社鳥居まで約200m続き、平成7年(1995)に地域住民の費用で石畳風に整備され、令和6年(2024)に再補修された。志紀長吉神社は真田幸村が刀剣と軍旗を奉納し、戦勝を祈願したとされる場所で、区内の重要な歴史的資源である。



3 大念佛寺

融通念佛宗の総本山で、大治2年(1127)に聖應大師が開基したと伝えられている。明治31年(1898)の火災で多くの堂宇を失ったが、現在の本堂は昭和13年(1938)に竣工し、府下最大の木造建築物として国の登録有形文化財に指定されている。また、境内のクスノキとイチチョウは市の保存樹に指定されている。



5 旧南海電鉄平野線平野駅跡プロムナード

チンチン電車の愛称で親しまれた南海電鉄平野線の軌道跡地に、昭和58年(1983)に設置された遊歩道。南海電鉄平野線は、大正3年(1914)開通以来多くの人々の交通手段として活躍したが、地下鉄谷町線の開通にともない昭和55年(1980)に廃止された。



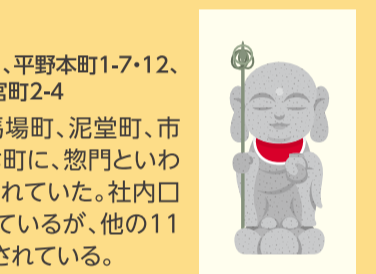
7 野中山 全興寺

1400年前、聖徳太子が建立し、薬師如来像を安置したのが草創と伝えられる。焼失により寛文元年(1661)に再建された本堂は、府下でもっとも古い木造建築の一つ。境内には「地獄堂」や「小さな駄菓子屋さん博物館」等があり、来訪者を楽しませている。



9 平野郷十三口の地蔵尊

平野郷は塚と土塁に囲まれた環濠集落で、馬場町、泥堂町、市町、野堂町、背戸口町、流町、西脇町の本郷七町に、惣門といわれる十三の出入口が設けられ、地蔵尊が置かれていた。社内口地蔵、泥堂口地蔵は現在、全興寺に安置されているが、他の11か所のお地蔵さんは、現在も出入口付近に残されている。



13 如願寺

崇峻天皇元年(588)、聖徳太子により「喜連寺」として創建され、のちに弘法大師により再建され、弘仁8年(817)「如願寺」と改号。木造彩色聖観音立像は平安期作の府指定文化財に指定されているほか、奈良時代の乾漆像である弁財天、平安期の木造地蔵尊などがある。



15 八坂神社と棕の木

東喜連村の氏神牛頭天王(神道令で全国的に八坂神社と改称)は村の古代社媛天神・春日社を合祀する村社だった。明治42年(1909)橘原神社に合祀されたが、戦争が終わり、昭和26年(1951)氏子の決議で再建された。境内の棕の木は根周り4mの大木である。



18 花塚山古墳

5世紀ごろ築造の円墳である。直径約25m、高さ約2.5mあり、幅約5mの周濠があったと推定されている。本格的な発掘調査が行われていないので、内部構造はわからないが、頂上部には木棺直葬の遺物が有るものと推定されている。



21 川辺八幡神社

石清水八幡宮を勧請。後醍醐天皇の宸翰を賜る。宝永元年(1704)の大和川付替工事により現在地に遷座。境内の楠には黒龍が宿るといふ伝承があり、推定樹齢300年以上で大阪市の保存樹に指定されている。



ひらのおすすめ スポットマップ



平野区制50周年と2025年に予定されている大阪・関西万博の開催を記念し、平野区内の見どころを掲載した「ひらのおすすめスポットマップ」を作成しました！大阪・関西万博に向けて、おすすめスポットを巡り、平野区の魅力を再発見してみませんか？

平野区50年の歴史

- 1974** 7月22日 東住吉区から分区し**平野区が発足**
- 1975** 9月 第1回区民まつり開催
- 1980** 11月 地下鉄谷町線 天王寺一八尾南間開業
平野・喜連瓜破・出戸・長原の各駅開業。南海平野線廃線
- 1986** 8月 平野区の花に「わたの花」を選定
- 2001** 10月 平野区役所・保健センター、新庁舎にて業務開始
- 2005** 5月 区制30周年記念「平野区誌」発行
- 2007** 6月 平野区マスコットキャラクター「ひらちゃん」誕生
- 2008** 3月 JRおおさか東線南区间(放出一久宝寺間)開業
新加美駅開業
- 2015** 2月 区制40周年記念「平野区今昔アーカイブ」作成
- 2018** 3月 JRおおさか東線衣摺加美北駅開業
- 2024** 平野区制50周年
- 2025** 4月13日~10月13日 大阪・関西万博開催(令和6年9月13日時点)